

専修大学自然科学研究所 自然科学紀要 投稿規定 (2019年 5月 7日改定)

専修大学自然科学研究所の発行する自然科学紀要の投稿規定を下記のとおり定める。

1. 紀要の内容、発刊、投稿資格

- 1) 本紀要が対象とする論文は、自然科学およびその関連領域に関するもので、原著論文、短報、総説などとする。
- 2) 本紀要は年1回、12月をめぐりに発刊する。
- 3) 原稿は英文または和文とする。
- 4) 本紀要に投稿する者は、原則として所員に限る（ただし、共著者は非所員でもよい）。
- 5) 他誌に投稿中、印刷中または掲載済みの論文と主要部分が重複した論文は投稿できない。
- 6) 筆頭著者として一号につき二論文以上投稿する場合は投稿前に編集委員会に相談することとする。

2. 原稿の採否

- 1) 原稿の審査は編集委員会が行い、原稿の採否は編集委員会の決定による。
- 2) 編集委員会は投稿原稿について訂正を求めることがある。

3. 原稿の校正

- 1) 校正は原則として 2回とし、著者が責任をもって期日までに行うこと。
- 2) 印刷上の誤り以外の訂正は原則として認めない。
- 3) 校正を期日までに行わない場合は、掲載されないことがある。

4. 著作権

- 1) 執筆論文の著作権（財産権）は執筆者にある。
- 2) 掲載された論文は専修大図書館が運営するリポジトリに登録される。掲載された論文の著作権(財産権)のうち、複製権ⁱおよび公衆送信権ⁱⁱの行使については専修大学図書館に委託するものとする。

5. 科学的小および倫理的規範の順守

- 1) 執筆者は、科学的小および倫理的規範を順守して執筆する。
- 2) 図、表、写真の転載許可は著者の責任において投稿前におこなう。

6. 投稿にあたり、投稿原稿のファイルおよびそのPDF、組版の場合は、さらに、図、写真、表の元データファイルを紀要編集委員に送付すること。

7. 投稿原稿のフォーマット

- 1) 原稿は一編につき一つの MS-Word形式またはTeX形式のファイルとする。数式を多用する論文はできるだけTeX形式を使うこと。また、原稿を作成する際には、紀要投稿要領に従い、研究所が用意したテンプレートを必ず使用すること。
- 2) 原稿の内容は表題、著者名、所属先、要旨、本文、引用文献からなることとする。ただし、和文

の場合は表題、著者名、所属先の英訳をつけること。

3) 提出形式に関して、MS-Word 形式、TeX形式いずれかを選択し、下記の様式に従うこと。

3-1) MS-Word 形式の場合は、組版にするか、PDFによる入稿かを選択する。ただし、PDFによる入稿でも、紀要投稿要領に従っていない場合は、組版となる場合がある。組版の場合は、図、写真、表、図の説明文を本文中の希望箇所に挿入すること。さらに、図、写真、表の元データファイルを MS Word ファイルおよびPDFとは別にそれぞれ提出すること。

3-2) TeX形式の場合は、PDF により入稿すること。

8. 本投稿規定は、毎年編集委員会で見直しを行い、自然科学研究所総会での承認を得、紀要に掲載する。

*別刷りは研究所負担とする。

i 冊子体の著作物を電子化したデータをハードディスクなどの記憶媒体に保存することができる権利

ii インターネットを通じて不特定多数の利用者に向け著作物を送信することができる (=公開することができる) 権利